

各種様式・ツール集(水災):宿泊業

<別紙参考資料>

| No. | 資料名 | 備考 |
|------|----------|----|
| 別紙 1 | 緊急時対応全体像 | |

<別紙様式・ツール集>

| No. | 資料名 | 備考 |
|------|----------------|--------------|
| 様式 1 | モニタリングシート | |
| 様式 2 | 従業員携行カード | →「大地震」様式2と共通 |
| 様式 3 | 早期帰宅判断シート | |
| 様式 4 | 出社制限判断シート | |
| 様式 5 | 水災被害防止・軽減対応マップ | |
| 様式 6 | 浸水防止対策備蓄品リスト | |
| 様式 7 | 高所移動備品・設備等リスト | |

■ 各種様式・ツールは、A4版で設定しています。
必要に応じて印刷時に用紙サイズをA3等に拡大して使用してください。

【様式1】モニタリングシート

★フェーズの判断は、モニタリング項目に関する情報をもとに「総合的に」判断

| モニタリング項目 | | フェーズ | | | | | | |
|----------|-------------|--------------------|---|---------------|--------------------------------|-----------------------------|-------------------------|---|
| 大項目 | 小項目 | 情報源 | URL | 情報単位 | 状況 | 対応事項 | 対応事項 | 対応事項 |
| | | | | | 事業所所在「地域」に水災被害をもたらす可能性のある事象が発生 | 事業所所在「地域」で水災が発生する可能性が高い | 「事業所」で水災が発生する可能性が高い | 事業所の所在する「地域」で水災被害が発生（「事業所」で軽微な被害が発生した場合も含む） |
| 台風情報 | 台風情報 | 気象庁「台風情報」 | https://www.jma.go.jp/ip/typh/ | 市町村等地域単位 | 24時間以内に「暴風域」に入る確率が70%以上 | 12時間以内に「暴風域」に入る確率が70%以上 | 3時間以内に「暴風域」に入る確率が70%以上 | 台風上陸 |
| 河川情報 | 警報・注意報 | 気象庁「気象警報・注意報」 | https://www.jma.go.jp/ip/warn/ | 市町村単位 | 洪水注意報 | 洪水注意報＋今後の推移で12時間以内に「警報級〔高〕」 | | |
| | 河川洪水予報 | 気象庁「指定河川洪水予報」 | https://www.jma.go.jp/ip/flood/ | 事業所付近の河川単位 | XX川氾濫注意報 | XX川氾濫警戒情報 | XX川氾濫危険情報 | XX川氾濫発生情報 |
| | 河川水位観測値 | 国交省「川の防災情報」 | http://www.river.go.jp/kawabou/ipAreaJump.do?gameId=01-0201&refineType=1&fldCtlParty=no | 事業所付近の河川観測所単位 | 氾濫注意水位 | 避難判断水位 | 氾濫危険水位 | |
| 降雨情報 | 警報・注意報 | 気象庁「気象警報・注意報」 | https://www.jma.go.jp/ip/warn/ | 市町村単位 | 大雨注意報 | 大雨注意報＋今後の推移で12時間以内に「警報級〔高〕」 | | 大雨特別警報 |
| | 記録的短時間大雨情報 | 気象庁「気象情報（府県気象情報）」 | https://www.jma.go.jp/ip/kishojoho/ | 市町村単位 | | 大雨警報 | | 記録的短時間大雨情報発表（1時間あたり80～120mm） |
| | 1時間降水量（予測値） | 気象庁「今後の雨（降水短時間予報）」 | https://www.jma.go.jp/ip/kaikotan/ | 事業所単位 | | 12時間以内に1時間降水量が80mmを超える予報 | 3時間以内に1時間降水量が80mmを超える予報 | |
| 排水情報 | 内水氾濫危険情報 | 都道府県・市町村単位 | 竹田市HP https://twitter.com/taketa_bosai https://www.city.taketa.oita.jp/kurashitetsuzuki/jogesuid/index.html | 市町村単位 | | | 内水氾濫危険情報 | |
| | 浸水の前兆 | TV等 | — | | | | 事業所所在「地域」で道路冠水等の情報入手 | |
| 高潮情報 | 警報・注意報 | 気象庁「気象警報・注意報」 | https://www.jma.go.jp/ip/warn/ | 市町村単位 | 高潮注意報 | 高潮注意報＋今後の推移で12時間以内に「警報級〔高〕」 | | 高潮警報、高潮特別警報 |
| 避難命令情報 | 避難命令 | 市町村HP等 | 竹田市HP https://www.city.taketa.oita.jp/index.html | 市町村単位 | | 高齢者等避難 | 避難指示 | 緊急安全確保 |
| 鉄道運休情報 | 計画運休情報 | TV、鉄道会社HP等 | 鉄道会社HP | 鉄道会社単位 | | 計画運休情報 | 運休情報 | |

【様式2】従業員携行カード

大規模地震・水災等 従業員携行カード

大地震発生直後の行動原則

自身/周囲の安全確保

- 1 自身/周囲の安全確保
- 2 避難/避難場所

家族の安否確認

- 3 家族との連絡手段

会社への安否報告

- 4 安否報告ルール

20●●年度版

1 自身/周囲の安全確保 地震

- 屋内にいる時
 1. 机やテーブルの下に隠れる
 2. 慌てて外に飛び出さない
- 屋外にいる時
 1. カバン、着衣等で頭を保護する
 2. 安全な建物へ避難する
 3. ブロック塀、門柱、ガラス窓等に近寄らない
- 車、公共交通に乗っている時
 1. 安全に左側に停車し、エンジンを止めてキーはつけたまま避難
 2. 公共交通機関で被災したときは、係員の指示に従う
- 揺れがおさまったら
 1. 初期消火
※火が天井に届いていたら、あきらめ逃げる
 2. ドアや窓を開けて避難ルートを確認する
 3. 救助活動は、周囲と協力し無理のない範囲で実施する
 4. **二次災害に気を付けて行動する**

1 自身/周囲の安全確保 水災

- 気象情報に注意
テレビやラジオで気象庁の災害情報等の収集に努める
- 避難情報
各自治体から「避難情報」が発令されたら、速やかに行動する。

| 警戒レベル | 避難情報等 | 避難行動 |
|---------|--------|---|
| レベル5 | 緊急安全確保 | ・既に災害が発生 ・命を守るための最善の行動をとる |
| レベル4 | 避難指示 | ・速やかに避難先へ避難 ・公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ避難 |
| 全員避難 | | |
| レベル3 | 高齢者等避難 | ・避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難 ・その他の人は、避難の準備を整える |
| 高齢者等は避難 | | |

2 避難/避難場所

- 避難する場合
 1. 落ち着いて避難を開始する
 2. 海岸近くにいる場合は、高台に逃げる
 3. できるだけ周りの人と一緒に行動する
 4. ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める
 5. エレベーターや車を使わず、徒歩で避難
 6. 非常持ち出し袋を持つ

●避難場所

※地震と水災の避難場所は異なる場合があるので確認すること

＜勤務地を基点とした避難場所・避難所＞

＜自宅を基点とした避難場所・避難所＞

避難場所：大きな公園や広場などの緊急避難用の施設または場所のこと
避難所：小中学校等の一時的に滞在する場所のこと

3 家族との連絡手段

電話、携帯等の連絡手段がつかない場合、災害時に設置される災害用伝言ダイヤル「171」(NTT)が利用できる
※震度6弱以上の地震等の災害発生時

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

伝言を録音する 伝言を再生する

171をダイヤル

1

2

被災地にあるご自身または連絡を取りたい方の電話番号
(固定電話、携帯電話等の番号を市外局番から入力)

録音
(30秒以内)

音声ガイダンス
に沿って操作

再生

上記の他、災害時はNTTによる「web171」や携帯電話会社(ドコモ、au、ソフトバンク)による「災害用伝言板」が開設され、メールでも伝言を送ることができる

連絡先等

●会社:

●会社(上長):

●家族等

帰宅指示・判断基準

●原則として会社の指示に従う

＜地震＞

1. 公共交通機関が不通の場合、または道路に大きな損傷等が認められる場合は、原則として会社の指示に従い、事業所又は他の安全な場所に滞在または宿泊する
2. 徒歩で帰宅する場合は、以下の点に注意し帰宅すること

《注意点》

- ・徒歩毎時2.5kmで計算すると10kmは4時間を要する(革靴では10kmが限界)
- ・夜間の行動は避ける
- ・余震が収まってから帰宅する
- ・帰宅路の安全を確認する
- ・同一方向はできるだけ集団帰宅する
- ・幹線道路を使い帰宅する

＜水災＞

1. 「今後、帰宅が困難な状況が発生※」することが予測される場合は、帰宅を避け、安全な場所に退避する
※ 特別警報や避難命令の発令、交通手段の使用不能など

4 安否報告ルール

- 災害発生時は、口頭、電話、メール等で必ず会社または所属部署の上長等へ自身の安否を報告する。

安否報告内容:

1. 名前・所属
 2. 本人及び家族のけがの有無
- ＜加えて、就業時間外の場合＞
3. 自宅状況
 4. 出社可否
 5. 連絡先電話番号

- 災害発生時に会社にいる従業員は、点呼を実施の上、点呼結果を上長へ報告する。

【様式3】 早期帰宅判断シート

<基本方針>

- 水災によって「今後、帰宅が困難な状況が発生」することが予想される場合、帰宅させるか否かを検討
- 「帰宅途上の安全を確保」するため、以下の状況が確認・予測できる場合は、帰宅させない
 - ・交通手段が使用できない
 - ・特別警報が発令される等、帰宅途上の安全が保障できない

■「今後、帰宅が困難な状況が発生」することが予測できる状況とは？

→以下を確認して総合的に判断

| No. | 情報区分 | 確認事項 | チェック結果 |
|-----|------|--|--------|
| 1 | 台風 | 事業所地域が12時間以内に「暴風域」に入る確率が70%以上 | |
| 2 | 河川 | 事業所地域に洪水注意報発令かつ今後の推移で12時間以内に「警報級〔高〕」になる可能性あり | |
| 3 | 河川 | 事業所地域で洪水警報発令 | |
| 4 | 河川 | 近隣河川が避難判断水位に達する | |
| 5 | 降雨 | 事業所地域に大雨注意報発令かつ今後の推移で12時間以内に「警報級〔高〕」になる可能性あり | |
| 6 | 降雨 | 事業所地域に大雨警報発令 | |
| 7 | 降雨 | 12時間以内に1時間降水量が80mmを超える予報が発令 | |
| 8 | 高潮 | 事業所地域に高潮注意報発令かつ今後の推移で12時間以内に「警報級〔高〕」になる可能性あり | |
| 9 | 避難 | 事業所地域で避難指示発令 | |
| 10 | 鉄道運休 | 事業所地域で計画運休情報が発信 | |
| 11 | 災害規模 | 大きな被害が発生する旨の報道あり | |
| 12 | | | |

■帰宅途上の安全が確保できない状況とは？

→以下を確認して総合的に判断

| No. | 情報区分 | 確認事項 | チェック結果 |
|-----|----------------|--------------------------|--------|
| 1 | 交通手段 | 公共交通手段が使えない | |
| 2 | 交通手段 | 車が使えない(マイカー通勤の場合) | |
| 3 | 帰宅までの時間 | 帰宅途中に公共交通手段が使えなくなる可能性がある | |
| 4 | 水災被害発生 の切迫性 | 特別警報が発令されている | |
| 5 | | | |

【様式4】 出社制限判断シート

<判断のタイミング>

- 就業時間中に、「翌日の」出社制限につき判断

<基本方針>

- 水災によって「翌日午前中に出社が困難な状況が発生」することが予想される場合、出社制限を実施
- 出社制限が実施された場合、社員は、会社から連絡があるまで自宅待機

■「翌日午前中に出社が困難な状況が発生」することが予測できる状況とは？

→以下を確認して総合的に判断

| No. | 情報区分 | 確認事項 | チェック結果 |
|-----|------|--|--------|
| 1 | 台風 | 事業所地域が12時間以内に「暴風域」に入る確率が70%以上 | |
| 2 | 河川 | 事業所地域の洪水に関する警報・注意報が今後の推移で12時間以内に洪水「警報級【高】」になる可能性あり | |
| 3 | 河川 | 近隣河川が避難判断水位に達する。 | |
| 4 | 降雨 | 事業所地域の大雨に関する警報・注意報が今後の推移で12時間以内に「警報級【高】」になる可能性あり | |
| 5 | 降雨 | 12時間以内に1時間降水量が80mmを超える予報が発令 | |
| 6 | 高潮 | 事業所地域の高潮に関する警報・注意報が今後の推移で12時間以内に「警報級【高】」になる可能性あり | |
| 7 | 避難 | 事業所地域で避難指示発令 | |
| 8 | 鉄道運休 | 事業所地域で計画運休情報が発信 | |
| 9 | 災害規模 | 大きな被害が発生する可能性を指摘する報道あり。 | |
| 10 | | | |

1階客室平面見取り図

ホテル図面や水災事前防止対策等を掲載

①屋外品の撤収・養生

- ・風に飛ばされる可能性のあるもの、水に流される可能性のあるものを可能な限り屋内に片付ける
- ・移動が不可能なものはブルーシートやテープ、ロープ等を用いて養生する

②建物の浸水防止

- ・水の侵入が想定される出入り口扉や地下入口等に土のうや水のう、止水版を設置して建物内への浸水を防ぐ

③建物内備品・備品等の高所移動

- ・建物内に浸水したことを想定して、建物内の重要な備品、設備、書類等を高所に移動させる

④車両の高所移動

- ・敷地内に浸水したことを想定して、駐車場の車両を高所に移動させる

⑤設備等の保護・電源停止

- ・事務所内に高所の保管スペースがある場合は、高価な機械類や重要書類等を可能な限り移動させる
- ・避難する前に、可能な限り電気を使用する全ての危機の電源を落とし、コンセントを外す
- また、電気ブレーカーを切り、ガス・水道の元栓を締める

【様式5】水災被害防止・軽減対応マップ

2階客室平面見取り図

ホテル図面や水災事前防止対策等を掲載

